



20道第 308号
平成20年10月30日

国土交通省道路局長 様

長野市長 鷺 澤 正



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県長野市

- ・ 合併により拡大した市域の一体化や、中山間地域の活性化を含め賑わいのあるまちづくりを進めるためには、中心市街地や観光拠点へのアクセス向上や、周遊性を高める幹線道路網を効率的に整備していくことが必要です。しかしながら、本市では中心市街地の環状道路や広域幹線道路の多くが未整備のため慢性的な交通渋滞が発生しており、そのため、これらの道路整備が不可欠であり、引き続き整備を推進していただきたい。
- ・ 高齢化が着実に進展する中、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、交通結節点や幹線道路においてバリアフリー化を進めるとともに、既存道路施設においても、景観やユニバーサルデザインに配慮した、質的改良も着実に進めていく必要があります。また、歩行者や自転車など誰もが安全で快適に利用できる道路空間造りが求められ、段差等がなくゆとりのある歩道の整備、生活道路においては歩行者優先のみちづくりなど、総合的な交通安全対策を進めていくことが必要であるので、幅広い対応ができる制度の確立と財政的支援をお願いします。
- ・ 豪雨や豪雪などの異常気象時においても、災害を未然に防止して、信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路の防災対策を一層進めていく必要があります。しかしながら、中山間地においては地形が急峻かつ地質が脆弱なため建設には多大な経費がかかり、思うように整備が進まない状況です。そのため、1. 5車線の道路整備や既存道路を活かした待避所の設置など、地域の実情に応じた道路整備に対する財政的支援をお願いします。
- ・ 既成市街地においては、土地区画整理などによる防災対策や生活環境対策も必要です。このようなか、土地区画整理事業は都市基盤整備づくりのための道路整備が基軸となっていますが、国からの財政的支援を受けられるのは都市計画道路のみとなっています。とくに近年においては、地価の下落により財源である保留地減歩が大きくなっており、円滑な事業推進のため補助対象路線の緩和と補助率アップを要望します。
- ・ 地方の道路整備は大都市圏に比べ遅れており、本市においても道路の改良率は全国平均を大きく下回っています。また、「交通安全・交通渋滞対策」等の道路整備に関する市民要望は依然高い状況です。都市基盤整備の基礎である道路整備には必要な財源の確保と安定した配分を望みます。
- ・ 県庁所在地を結ぶ国道は、地方財政力によって整備に差が出ないよう従来どおり国直轄事業主体として、また、県内主要都市を結ぶ国道等幹線道路も国県で事業を進めていただきたい。
- ・ 地域の活性化、物流の効率化、都市部の深刻な渋滞の解消等に対応するため、高速道路料金の引下げ、スマートインターチェンジの新設など既存高速道路の有効利用が必要です。そこで、スマートインターチェンジの整備やアクセス道路を整備する地方公共団体に対して、負担の少ない制度の確立をお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②—1 地域の現状と抱える課題

長野県長野市

○現状	○課題
1) 人口減少、少子高齢化の進行 2) 合併により市域が拡大し、中山間地の割合が増大 3) 中心市街地の活力低下と市街地の郊外への拡散 4) 異常気象に耐えられない老朽化した施設の増大 5) 管理すべき道路施設の増加と老朽化 6) 降雪による道路機能のまひ	1) 少子・高齢化社会に対応した道路や駅など交通機関のバリエーション化と円滑な移動の確保 2) 地域間を短時間で結ぶことができる幹線道路整備及び公共交通機関の存続 3) 交通渋滞の拡散 4) 地震や異常気象等により発生する災害に強い道路の整備 5) 削減が続く道路予算を踏まえた効率的な道路整備 増大する維持管理費の確保、及び更新時期を踏まえた適正な維持管理 6) 適切な除雪体制

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②—2 地域の目指すべき将来像

長野県長野市

- 1 市町村合併で市域が拡大したため、各拠点間を結ぶ道路の効率的なネットワークができるよう道路整備がされたまち
- 例 国道19号信州新町から長野市街地の二次改築等の促進
- 2 既存の道路ネットワークを活用した効率的な道路整備がされたまち
- 3 公共交通システムの整備や交通安全対策とし歩道空間や自転車道の整備されたまち
- 4 ユニバーサルデザインの考え方に基づき、誰もが安心して利用できる交通環境を整え、障害者・高齢者等を含めすべての人が自由に行動できるまち
- 5 省エネルギーやCO₂の排出削減に貢献し、交通渋滞の無い交通環境が整ったまち
- 6 電線類の地中化等による質の高い空間整備を含めた道路環境のよいまち
- 7 地震・水・風・熱等の災害に強い道路整備がされ、災害時における交通ライフライン等のバックアップ体制が構築されているまち
- 8 質の高い都市基盤整備により快適で安心して暮らせる住みよいまち
- 9 高速道路の有効利用ができる

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県長野市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
1 都市間バイパス事業の促進・地域活力の向上	・東外環状線の整備、上田篠ノ井間バイパス整備、街路高田若槻線整備など、中心市街地の交通渋滞を緩和する環状道路やバイパスの整備 ・県道長野真田線、国道406号、県道長野菅平線など都市内及び地域間の連携を深め、さらに高速道路へのアクセス強化を図る幹線道路の整備	○期待する効果や評価等 ・国道18号の渋滞を緩和し、都市内の移動が円滑になることで、省エネレギーやCO2の排出削減などの交通環境の改善に貢献できる。 ・人々が活発に交流して経済活動が盛んに行われ、活力ある地域が形成される。	その他
2 安心・安全な道路の整備・交通安全施設整備の促進	・街路北都幹線整備など、災害発生時に病院や広域避難場所等を結ぶ緊急活動用道路となる幹線道路の整備 ・街路山王栗田線など、電線類地中化による道路空間の創出、中心市街地などの歩行者優先の交通整備の促進 ・道路・駅前広場等の整備、交通機関のバリアフリー化 ・国道19号自転車歩行者道整備	・地震や災害時の物資や人の輸送の他、患者の移送時間短縮などの医療福祉への貢献ができる。 ・ゆとりと潤いをもたらす道路空間が提供できる。 ・高齢者・障害者など、誰もが駅などの公共施設や商業施設へ安心して移動できる。 ・歩行者、自転車利用者の安全確保	
3 既存高速道路の有効利用	・既存高速道路の料金の値下げやスマートインターチェンジの新設	・物流の活発化、営業時間の短縮、幹線道路の交通渋滞の緩和等、地域経済の活性化及び地域の発展に貢献できる。	
4 市道維持管理費への国庫補助金の導入	・橋や舗装等、道路施設の維持管理費に国庫補助事業等を創設	・道路修繕・改築の行き届いた災害に強いまちづくりに貢献できる。	